

令和3年第1回定例会一般質問要旨

◎高橋議員

1. 移住・定住（Uターンなど）への支援策について

- ① 「佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金条例」が制定され、自らの夢の実現のため町外の大学等に進学する学生にとってはとてもありがたい支援ではありますが、一方で佐呂間では様々な業種において後継者不足が問題となっております。この町「佐呂間」へのUターンを検討している方々へ、この町ならではの支援をすることで、人口減少対策や町の活性化につながるのではとの考えから、佐呂間に戻ってきた方々への支援策としてどのような考えをお持ちなのか伺います。

- ② 現在のコロナ禍のなか、都会の喧騒から離れ地方に移住する方が増えているとのことですが、ここ佐呂間でもそのような方々を積極的に迎え入れるべきではないかと感じております。町長の所信表明の中でも移住・定住対策を推進すると述べていることから、移住・定住者を掘り起こす具体策としてどのような考えをお持ちなのか、またそのような方々がこの町に実際に住むことになったとき、町としてどのような支援策を考えているのか伺います。

- ③ 移住・定住する方が増えたとしても、佐呂間では住宅不足の問題がつきまとうと感じております。町営住宅や民間賃貸住宅もあるでしょうが、まだまだ数が少なく、企業や団体の従業員用の住宅も同様であるときいてのことから、住宅問題についてどのように考えているのか伺います。

- ④ ③の住宅問題に関連し、平成30年の第1回定例会において空き家対策について一般質問を行った際に、実態調査を検討するとの答弁がありましたが、それ以降の進捗状況及び今後の対応などについて伺います。

令和3年第1回定例会一般質問要旨

◎三田議員

1. 役場職員及びその他の委員等の女性登用について

国では男女平等参画の観点から国会議員や各審議会、委員会等は女性の比率を約40%にすることを目指しているところですが、今回のオリンピック委員会の問題においてもいろいろな問題点が考えられました。

ジェンダー平等といわれていますが女性の個性が活かされているとはなかなか言えない状況ではないのでしょうか。国民の人口は女性のほうが多いですが、どんな分野の仕事も女性が働きやすいとは言い難く、リーダーとして活躍している方も少ないと感じていることから、次のとおり伺います。

① 本町の職員の女性の比率と昇格状況及び行政関係の委員会等の男女比について伺います。また女性職員の昇格やポストを今後どのように考えているのか伺います。

② 男性職員の育児休暇の状況について伺います。

2. 転入者への受付時の対応について

役場の窓口業務は以前と比べ対応がわかりやすく、町民に対し親切であると感じていますが、初めて佐呂間を訪れた転入者に対しても、例えばゴミの分別方法の説明や町内の地図を渡すなど、転入してきた方が知りたい生活していく上で必要な情報の説明を行うなど、親切な対応を行っているのか伺います。

令和3年第1回定例会一般質問要旨

◎但木議員

1. 国保における未就学児の均等割保険料の軽減措置について

国は2022年度から未就学児に係る国民健康保険税の均等割額の5割を軽減するとし、その実施のために必要な財源の負担割合は国1/2、道1/4、市町村1/4とされています。

令和3年度がその計画年度となることから、以下についてお伺いいたします。

①軽減の対象となる国保加入者の未就学児数と町の負担額について。

②軽減措置を小学生、中学生まで拡大したときのそれぞれの人数と負担額及びその実施の可能性について。

2. 教育行政推進方針を受けて

新型コロナウイルス感染症の拡大により子供たちの教育環境も大きく変わりました。この変化が子どもたちの成長や発達にどのような影響を与えたのか計り知れません。

新年度から一人一台タブレット端末等の導入により授業で活用されていくことになりましたが、子供たちの健康面への影響とその対応についてお伺いします。